

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」小幡校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性が高い職員と経験豊かな職員が多い	ある療育の事例を話し合う際に職員一人ひとりの考えや観点を全体ミーティングで情報共有しています。別の観点から利用者様の行動などを改めて考える機会をつくっています。また、公認心理師を中心とした研修を校舎内で行っています。	早期療育の重要性について、保護者様や地域向けに広めていけるように交流会を設けていきたいです。
2	個別療育ならではの、一人ひとりに合わせた手作り教材	開校から10年を迎えますが、手作り教材の数はかなり多いと思います。保護者様とのフィードバックを大切に、利用者様の現在の興味を聴き取る事で、より療育を楽しんでもらえるよう工夫しております。	作成した本人の意図以外にも、別の視点でも使える教材ではないかなど、朝礼時に確認できると良いと思います。
3	職員間での情報共有	朝礼時なのに、前日の支援内容を振り返ります。自分が担当した指導員以外とも改善点を話し合う事で次の療育に活かしています。	保護者様へのフィードバック時に療育の「ねらい」についてしっかりと周知してもらえるように、専門性だけでなく、伝え方などにも配慮していきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が開催できていない	地域の情報交換の場や先輩保護者さんの話を聞いて、進学、進路などを聞く機会をどこかで行えたらと思います。ニーズがそれぞれ違うかと思うので、個別に相談したいという方がいらっしゃった場合など会を設ける事もあります。	相談できる体制をもっと広く周知していけるようにします。
2	児発向けの小集団を行えていない	現在、「きらり広場」という題名で検討中です。	個別療育の日程などと調整できるよう考えます。
3	送迎などを行っていない	徒歩や自転車などで通えない距離にお住まいの方には負担になっていると思います。	送迎してでも通う価値があると認識してもらえる職員の技術を向上、保護者がお待ちいただく際に居心地の良い空間作りを工夫していきたいです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」小幡校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

13名

回収数

13名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	3			限られたスペースをフル活用されている。	狭い事業所ではありますが、療育スペース確保のため様々な工夫をさせていただいております。今後も環境作りに配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9		2	2	施設に入る階段手すり等。	マンションの共有部分に関しては管理会社と相談させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2		2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6		4	3		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2		4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	1	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3		6		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	3		2	相談にのっていただいております。	今後も子育てでお悩みの際にはぜひお話しください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	3		5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	2		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	3		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	2		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				たくさん気持ちを受け止めてもらって先生を意識して楽しそうにすごしています。	ありがとうございます。「楽しい」「嬉しい」という気持ちが一番の療育で大切だと思っています。今後も職員一同頑張ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」小幡校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		狭いスペースを活用し、療育に集中しやすい環境を設定おります。	問題なし。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員配置基準みたしております。	問題なし。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	様々な年齢層のお子さんが通っているため、記号や絵などで分かりやすく感じられるよう工夫しております。	構造がわかりにくいと感じる年齢の利用者様もいらっしゃるかもしれないので、今後も環境整備は徹底して行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃は毎日しています。 業者さんのクリーニング等の利用を年に1～2回程行いたいと思っています。	問題なし。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室のご用意があります。	問題なし。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼やイベント開催後のミーティングで、改善点を話し合っております。	問題なし。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議を行い、ご意見の周知を行っております。	駐車場の場所がわかりにくいと度々ご指摘をいただきますので、夜間にも見やすい看板を作成中です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の事業所内会議で出た意見をもとに話し合いをしています。	問題なし。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者の外部評価は行っておりません。	年に1回内部監査を行っておりますが、外部の方から監査を受けた事はありません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回あるテーマ研修への参加と月2回の他校舎指導員との支援内容の意見交換を行っております。	問題なし。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		保護者様へのフィードバックを参考にさせていただき、支援プログラムの調整をさせていただいております。	問題なし。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的に保護者様とアセスメントを行っております。	問題なし。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全指導員も参加しながら行っております。	問題なし。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を確認しながらプログラムの構成を立てております。	問題なし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所の共有のアセスメントシートを用いてアセスメントを行っています。	問題なし。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画に記載されております。	問題なし。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		指導員同士で意見交換を行う機会をもうけております。	問題なし。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導員同士で意見交換を行う機会をもう置けております。	問題なし。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		イベントは長期休みの際に行っています。	問題なし。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		療育の振返りは朝礼で職員全体で行っています。	土曜日、祝日の開校日は支援前の朝礼が行えておりません。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	次の日の朝礼で振り返りをおこなっております。	問題なし。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録がチェックされているか、職員全体でチェックするように心がけています。	問題なし。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的を実施しております。	問題なし。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必ず担当指導員が出席するかたちをとっています。	問題なし。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様の許可をいただいて、連携を取らせていただく事があります。	問題なし。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		特支と普通の転籍に悩む保護者様の方とお話をしたり、保護者間で情報交換の場を設けています。	問題なし。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様からのご希望がありましたら対応いたします。	問題なし。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				問題なし。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				問題なし。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				問題なし。
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		今年度、参加させていただきました。	問題なし。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	交流する機会を設ける事ができておりません。	問題なし。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後に保護者へフィードバックを必ず行い、家庭や園での様子を伺っております。	問題なし。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	掲示板にお知らせしております。	周知されていない方もおられるように感じます。掲示板を見やすいデザインにします。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず運営規定についてふれております。	問題なし。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成時には、保護者様に確認をいただき、サインをお願いしております。	問題なし。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成後に説明と同意のサインをいただくようにしております。	問題なし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援、子育てサポートを随時行っております。	問題なし。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在行っていません。	保護者会の開催を検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		家族支援、子育てサポートを随時行っております。	問題なし。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログでの活動報告が停滞する月もあります。なるべく皆さんに周知していただけるように、ブログの更新回数をあげていきます。	問題なし。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかったロッカーで保管しております。	問題なし。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		LINEなどで、文面が残るように配慮しています。	問題なし。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域交流の機会がありません。	イベントなどで地域の方と交流できる機会を設けていきたいです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練は月に1回行っています。	問題なし。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月1回必ず避難訓練を行っています。	問題なし。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		従業員全体で共有しております。	問題なし。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供が日ごろからあるわけではありませんが、イベントなどで食事をする場合は確認をしています。	食事の提供は基本的にありませんが、イベントの際に食事提供がある際は、事前に確認しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修に参加し、職員全体で研修と訓練を行っています。	問題なし。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に避難場所の説明や避難訓練の実施についての説明を行っています。	問題なし。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内会議で周知と改善内容を周知しております。	問題なし。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を全職員で参加しています。	問題なし。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		明記しております。	問題なし。